

授業 科目名	【G】 研究会I・II Q 【H】 研究会I・II Q 【I】 研究会I・II Q	区 分 必 修	開講年次	【G】3 【H】3 【I】3	単位数	【G】2+2 【H】2+2 【I】2+2		
科目区分	専門科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	国内外の時事問題について考える			担当者	大西香世			
授業概要	【概要】	政治学や国際関係論に関する資料や文献を正確に読む力を身につけ、国内政治及び国際政治に関する幅広い知識を身につける。履修者は、政治学や国際関係論に関する各自が関心のあるテーマを1つ選び、1人ずつ発表する。発表後は、履修者全員でそのテーマについて議論し、問題の解決方法等について考察する。また、履修者はレポートを作成し、提出する。						
	【到達目標】	資料や文献を正確に読む力と、国内外の時事問題に関する基礎的知識を身につける。また、自分の考えを深め、自分の意見を分かりやすく表現する能力や他の履修者と議論する能力を習得する。また、大学生としてふさわしい文章やレポートを書く能力、発表する能力を身につける。						
履修条件	「政治学入門」「国際関係入門」「政治学I・II」「国際関係論I・II」を履修していることが望ましい。							
アクティブ ラーニング の方法	【○】	事前学習型	【-】	反転授業	【○】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP (ディプロマ・ポリシー) ①	◎ (よく当てはまる)						
	DP (ディプロマ・ポリシー) ②	◎ (よく当てはまる)						
	DP (ディプロマ・ポリシー) ③	◎ (よく当てはまる)						
	DP (ディプロマ・ポリシー) ④	- (当てはまらない)						
他科目との 関連性	政治学入門、国際関係論入門							
教科書	特になし。必要に応じて資料を配布する。							
参考書	特になし。必要に応じて資料を配布する。							
評価方法	積極的な発言等授業への参加態度 (50%)、課題 (50%) で評価する。							
フィードバック 方法	原則として授業内に行います。質問や問い合わせ等はメールで随時受け付けます。							
評価基準	授業に積極的に参加し、課題を達成し、学修した内容をよく理解し身に付けた者はその程度に応じて「S」または「A」、不足がある者はその程度により「B」または「C」とし、参加度または達成度が著しく低い者はその程度に応じて「D」または「E」とします。なお、6回以上の欠席や課題未達成などの場合は「F」とする。							

授 業 科目名	【 G 】	研究会 I ・ II Q	区 分	開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2+2
	【 H 】	研究会 I ・ II Q	必 修		【 H 】 3		【 H 】 2+2
	【 I 】	研究会 I ・ II Q			【 I 】 3		【 I 】 2+2
授業内容	履修生が各自、政治学や国際関係論に関する興味のある時事問題に関するテーマを選び、それについて調べ、順番に発表を行う。質疑応答後、そのテーマに関して履修者全員でグループ・ディスカッションし、問題の具体的な解決方法などを考察する。履修者は、発表した内容を元に学期末にレポートを作成し、提出する。						
予習内容	発表者は発表準備をすることが必須です。また、レポート作成には相当の準備時間が必要です。毎回90分程度の予習時間が目安となります。						
復習内容	各回のゼミで学んだ内容を復習する、その日議論した内容の中で知らないこと、考察を深めたいこと等があれば調べる等、毎回90分程度の復習時間が目安となります。						
その他	特になし						